

Escitalopram Attenuates Fear Stress-Induced Amygdala Dopamine Increased According to Dopaminergic Sensitization: Implications of Fine-Tuning Action of SSRIs on Emotional Processing

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2016-11-25 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 村岡, 寛之 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10470/31573

様式 (6)

学 位 審 査

学 位 番 号	甲 第 631 号	氏 名	村岡 寛之
審 査 委 員 会	主 査 教 授	石郷岡 純	
論文審査の要旨 (400 字以内) 本研究は、精神疾患と共通した情動的文脈処理の障害があると考えられるメタアンフェタミン (MAP) 慢性処理ラットを用い、恐怖条件付けした際の扁桃体におけるドーパミン動態に対して抗うつ薬エスシタロプラム (ESCIT) がもたらす効果を検討したものである。ESCIT は恐怖刺激提示後の扁桃体ドーパミン過剰放出を抑制した。一方、基礎放出量に関しては、MAP 未処置ラットでは増加作用を認めたのに対し、MAP 慢性処理ラットでは増加作用を認めなかった。 ESCIT は選択的セロトニン再取り込み阻害薬であり、ドーパミン受容体やトランスポーターへの直接作用を有しないが、恐怖条件付け動物における刺激提示時のドーパミン過剰放出を抑制したことはきわめて興味深く、この作用は抗精神病薬や気分安定薬とも共通していた。また基礎放出量への効果は他の薬剤とは異なっていることも見出された。以上の発見は精神薬理学に多大な貢献をするものであり、学位授与にふさわしいものと考えられた。 本要旨は当該論文が第二次審査に合格した後の 1 週間以内に学務部医学部大学院課へご提出下さい。(本学学会雑誌に公表) [学校教育法学位規則第 8 条]			